

■開講科目名：自由と創造論

「日常生活における心の豊かさ-シン教養主義-」

8つの対話で紡ぐアンソロジー

～あるがままの自分を受け入れ、自由に生きるための実践型プログラム～

■曜日・時限：5月～12月の月1回水曜日（17:00～20:00開催）

■主担当教員：神戸大学バリュースクール客員教授 佐藤正和・安川幸男

■授業場所：眺望館1階Vルーム

■ 共同研究の目的

JT Group Purpose である「心の豊かさを、もっと。」を学究的に掘り下げるとともに、パーパスを社会に浸透させ、ひとりひとりの個人へ伝えていく手段としてリベラルアーツを活用した対話型プログラムを展開していく。その際、教養を情報や知の体系として漫然と伝えるのではなく、受け手が自分事化（私と）して主体的に身につけ、個々の表現力を高め、越境を重ねながら自由になるための手段として自分の生に活かすこと（生きるための学び）を主目的とし、意識・行動変容を促す実践的な知的道場とする。

パーパスである心豊かに生きるための「とき」や日常、路傍にあるモノへの眼差し、自分の感覚（手触り）や直感を身体化する営み、美意識など、言語化できないモノやコトへの愛しみを通じて、知識に偏重せず縛られない「シン教養主義プログラム」を実行していく。

■授業の概要

モノからコトへ、そしてコトからココロへ。2020年より実施してきたJT（日本たばこ産業株式会社）との共同研究（日常生活における心の豊かさとは何か）をさらに深め、予測不能で答えのない時代を生き抜く個人に必要なマインドセットや多様性の理解を、己のコンプレックスやトラウマなどネガティブな追体験から始める。そして内発的動機や主観的な思いや考えを優先に、提供価値を起点にした事業創造や他者との共創の仕方を身につける。

共同研究のテーマである、「日常生活における心の豊かさとは何か」という命題のもと、経験や常識、バイアスから離れ、解放されながら、純粹にアプリアリ（先験的）に思惟し、不安定で不確実、複雑性と曖昧性が漂うカオス化する世界を個人がどう捉え、行動へと移していくか、そのために必要な意識変容、ビジョンや事業を構想していく力、行動と勇気までをトータルにデザインしていくことを目標に据える。

特に本プログラムではリベラルアーツが有する精神、考え方を重視し、社会・経済システムの構造的変化、反転するグローバリゼーション、専門領域を超えた発想や越境の必要

性、予測不能で変化の激しい時代に求められる個人の資質やそのベースとなる思考法を鍛錬する。

■学習設計

深い学びと思考の輻輳性、知識の定着と対話を通じた共創を目的に、答えを安易に求めないことや、早急な結論を出さず、時には保留しながら、学びのプロセスを意識させ、常識を疑い、本質を見極め、課題設定能力（問いの立て方）を身につけ、よりよい世界を創る規範的判断力の知的フレームワークを会得していく。知識や方法論に偏重しない学びをデザインし、多様な価値観を知り、行動へとつなげる。答えを出すのではなく、問いを立てる、また思索のプロセスを重視しながら、外部の有識者や表現者を入れ、カオスや偶然性を引き出す環境をつくり、自己の内面と向き合いながら、主体的に学ぶと共に、他者との協働による「共創」を意識した学習設計とし、異なる分野をつなぎ、越境していく思考を習得していく。

【受講生像】

- ・人間とは何か、生きる意味とは何かなど本質的で哲学的なテーマと向き合いたい
- ・歴史や文学、アート、文化人類学、宗教など人文科学の知を横断的に眺めていきたい
- ・学部の壁を越え、多種多様な仲間とともに学び、自分を変えていく機会を設けたい
- ・あるがままの自分を受け入れ、自分らしく生きるなど、他人軸ではなく自分軸で今後のキャリアを眺めていきたい
- ・社会課題（環境、人権問題等）や人間の不条理と向き合い、価値観や考え方の違いを対話を通じて乗り越えたい
- ・単なる知識や情報の獲得ではなく、人間性や倫理を備えた教養人になりたい

■授業の内容

5-11月の月1回水曜日の（17：00-20：00）に開催。バリュースクールの教員によるファシリテートと、ゲスト講師からの知識のインプットと自己内省、グループワークを組み合わせる。

★ 8つの対話で紡ぐアンソロジー

講師と学生で課題図書などを活用しながらテーマごとに対話を紡いでいく（全8回）

毎回、異なる問い（テーマ）を掲げ、分野に固執せず三者三様（+ゲスト）による多様なアプローチでテーマを掘り下げていく構成にする。

- 第1回 5月31日(水)
「私とは何か。その可能性と越境」
～西洋哲学から考える、生きる意味と自己理解～
- 第2回 6月28日(水)
「他者はあまりにも遠い存在か」
～他者とは何か、エンパシー、自己生成へ～
- 第3回 7月26日(水)
「身体・心・文化の交差点」
～野性の思考、文化人類学からの眼差し～
- 第4回 8月30日(水)
「知からの解放、身体知を磨く」
～対話・ウェルビーイング～
- 第5回 9月27日(水)
「日常・路傍への眼差しと風流論」
～禅、茶の精神を学ぶ～
- 第6回 10月25日(水)
「逸脱すること、自己表現」～
～アーティストから眺めるセカイ～
- 第7回 11月15日(水)
「美意識・表象としてのアート」
～対話型鑑賞(VTS)とアート思考～
- 第8回 12月13日(水)
「心の豊かさとは何か」
～最終章・エピローグ～

■学生の評価

「日常生活における心の豊かさ」について、個人やチームで考察したこと、日常生活のなかでの気づきや取り組んだことを最終発表し、学びの振り返りを中心に学生を評価。